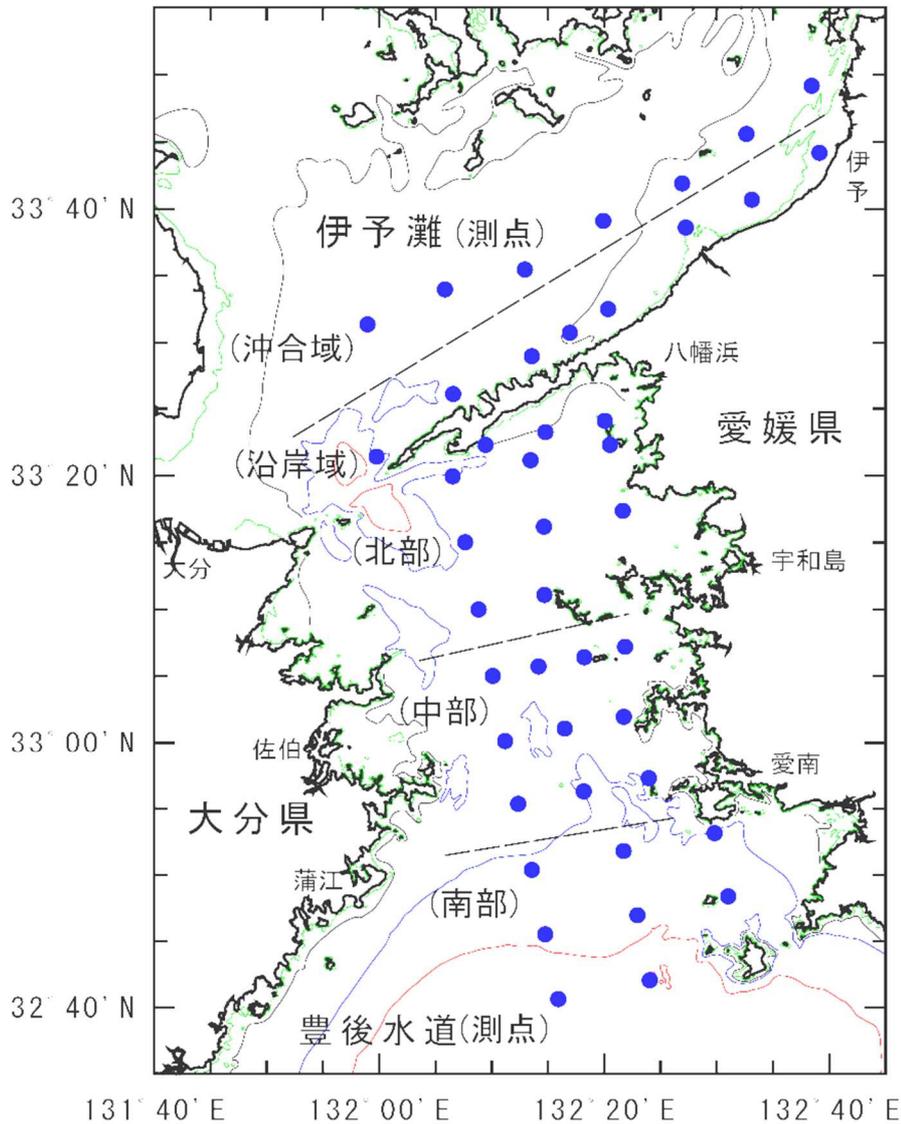


豊後水道東側（宇和海）の海況と小型浮魚類
（いわし類・マアジ・さば類）の出現状況について
2024年7月～11月の経過と2025年1月～6月の予測



2024年12月25日

愛媛県農林水産研究所 水産研究センター

環境資源室

○概要

2024年12月19日、20日に国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所が、太平洋側21都道府県の関係試験研究機関による資源調査結果等を踏まえて太平洋側の漁海況経過の総括と予測を行うため長期漁海況予報会議を行いました。そこで、2024年7月～11月について太平洋側の海況と浮き魚5種（マイワシ・カタクチイワシ・ウルメイワシ・マアジ・サバ類）の漁況経過を取りまとめ、2025年1月～6月の漁海況の予測を行いました。

本稿では豊後水道東側における漁海況の経過と予測についての概要を紹介します。詳細については、水産研究・教育機構のHPをご参照ください

[\(2024\(R06\).12.24 2024年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報 | 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 \(fra.go.jp\)\)](#)。

○海況 ※平年:1991年～2020年の30年間の平均

【2024年7～11月の海況経過】

◇水温

北部：7月は0m層で「やや高め」、10～75m層で「平年並み」。8月は0m層で「やや高め」、10～50m層で「やや低め」、75m層で「きわめて低め」。9月は0～10m層で「高め」、20m層で「やや高め」、50～75m層で「平年並み」。10月は0～20m層で「やや高め」、50～75m層で「平年並み」。11月は全層で「高め」（図2参照）。

中部：7月は0～50m層で「平年並み」、75m層で「やや低め」。8月は0m層で「平年並み」、10～75m層で「やや低め」。9月は0m層で「やや高め」、10～50m層で「平年並み」、75m層で「やや低め」。10月は0～50m層で「平年並み」、75m層で「やや低め」。11月は全層で「高め」（図2参照）。

南部：7月は0～10m層で「平年並み」、20～100m層で「やや低め」。8月は0～10m層で「高め」、20～100m層で「平年並み」。9月は0m層で「きわめて高め」、10m層で「高め」、20m層で「やや高め」、50～100m層で「平年並み」。10月は0～20m層で「高め」、50～100m層で「平年並み」。11月は0～50m及び100m層で「高め」、75m層で「やや高め」（図2参照）。

【水温 (10m 層・°C)】

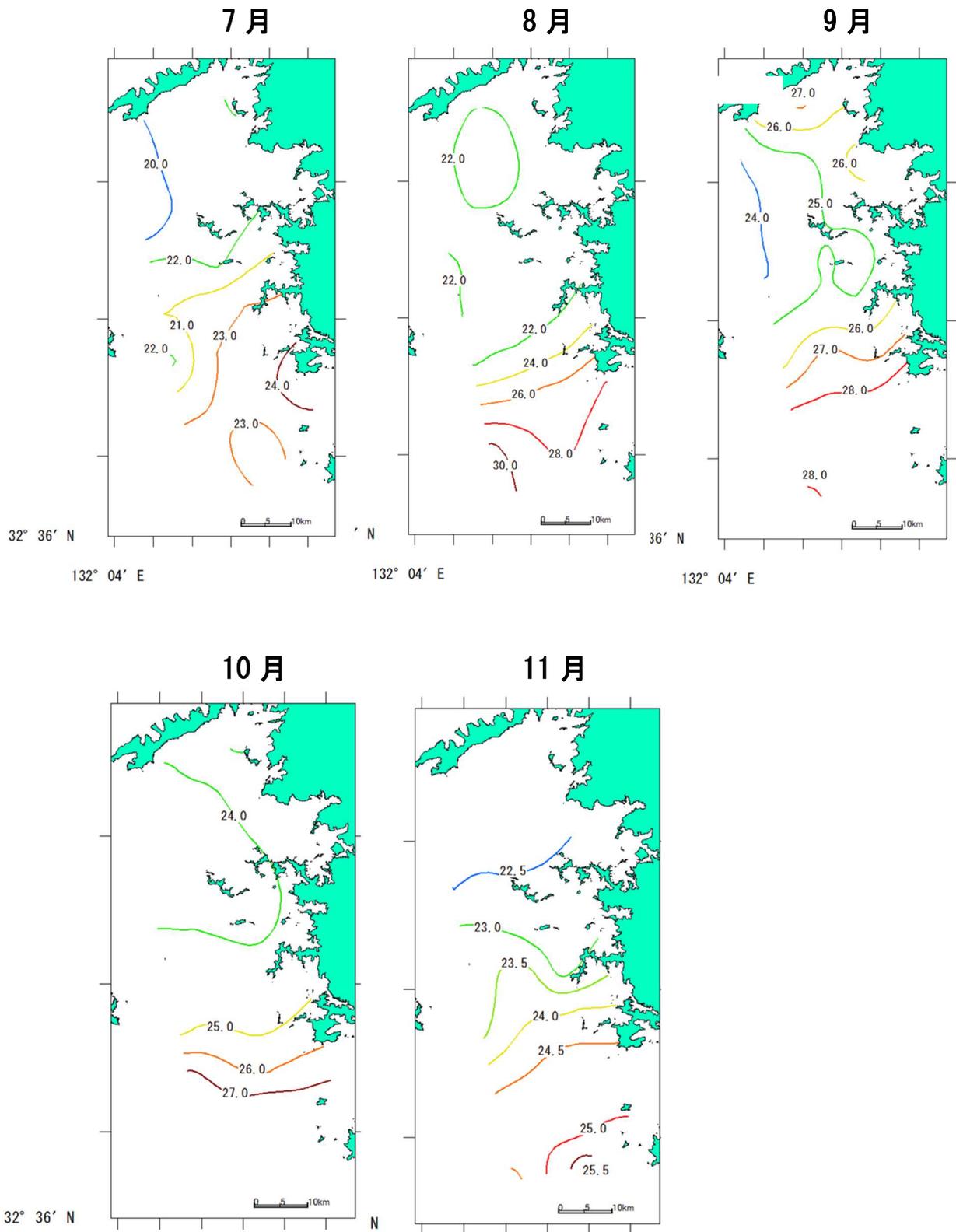


図1 豊後水道東側における月別の海況図

		7月	8月	9月	10月	11月
豊後水道 北部 (愛媛)	観測日	3日	1日	11日	3日	13日
	0m	+	+	++	+	++
	10m	-+	-	++	+	++
	20m	-+	-	+	+	++
	50m	-+	-	+ -	+ -	++
75m	-+	- - -	-+	+ -	++	
豊後水道 中部 (愛媛)	観測日	4日	2日	9日	2日	14日
	0m	+ -	- +	+	+ -	++
	10m	- +	-	+ -	+ -	++
	20m	- +	-	+ -	+ -	++
	50m	- +	-	- +	- +	++
75m	-	-	-	-	++	
豊後水道 南部 (愛媛)	観測日	16日	9日	12日	1日	12日
	0m	- +	++	+++	++	++
	10m	- +	++	++	++	++
	20m	-	- +	+	++	++
	50m	-	- +	- +	+ -	++
75m	-	- +	- +	- +	+	
100m	-	- +	- +	- +	++	

評価基準	
+++ (---)	: 平年よりきわめて高め(低め)
++ (--)	: 平年より高め(低め)
+ (-)	: 平年よりやや高め(低め)
+ - (- +)	: 平年並み(プラス, マイナス基調)

図2 豊後水道東側における月別水温平年偏差

◇黒潮

- ✓都井岬沖：期間を通じて離岸傾向で推移した。
- ✓足摺岬沖：7～8月は「接岸」～「かなり離岸」、9月上旬は「かなり離岸」～「著しく離岸」、9月中旬～11月下旬は「接岸」～「やや離岸」で推移した。

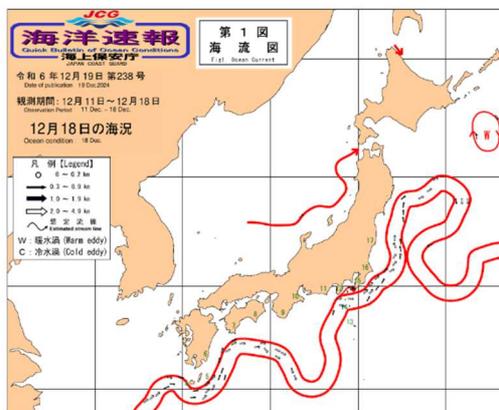


図3 2024年12月18日の海況図（海上保安庁 海洋情報部 HP より引用）

【2025年1～6月の黒潮の見通し】

- ◇都井岬沖：概ね接岸傾向で推移する。
- ◇足摺岬沖：離岸傾向で推移するものの、一時的に接岸傾向となることがある。

○漁況 ※近年：過去5年間の平均 平年：過去20年間の平均

マイワシ

【2024年7～11月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、7月329t、9月55tで、計384t（対前年比999%、対近年比54%、対平年比80%）となった（図4、5参照）。

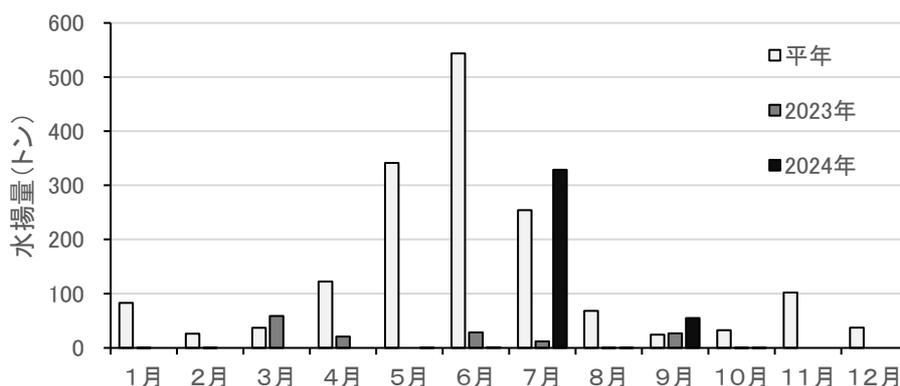


図4 豊後水道東側における月別マイワシ水揚量

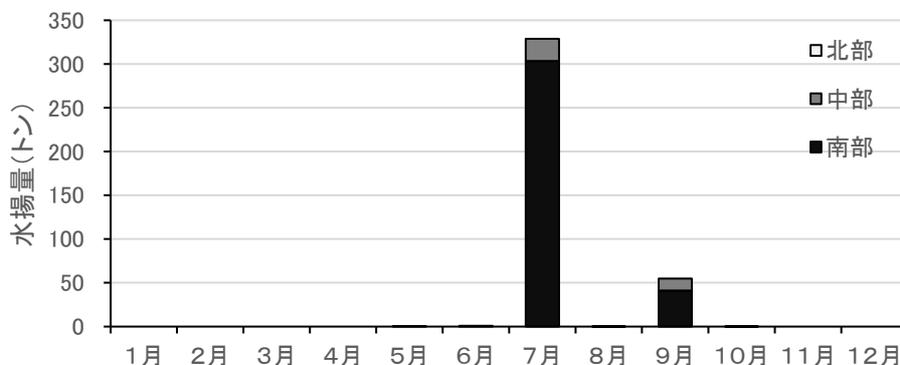


図5 豊後水道東側における海域別のマイワシ水揚量

【2025年1～6月の漁況予測】

予測期間中の漁獲対象となる0歳魚の水揚量について、例年12～3月は少ない。2024年7～11月の水揚量が、南部は前年同期を大きく上回り、中部は前年並みであったことから、前年を上回るが、平年より下回ると予想される。

カタクチイワシ

【2024年7～11月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、7月1780t、8月536t、9月141t、10月132t、11月32tで、計2621t（対前年比47%、対近年比70%、対平年比84%）となった（図6、7参照）。

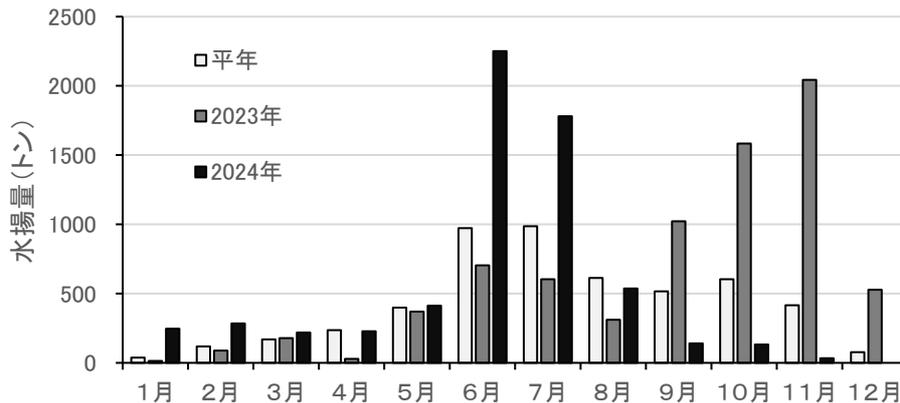


図6 豊後水道東側における月別カタクチイワシ水揚量

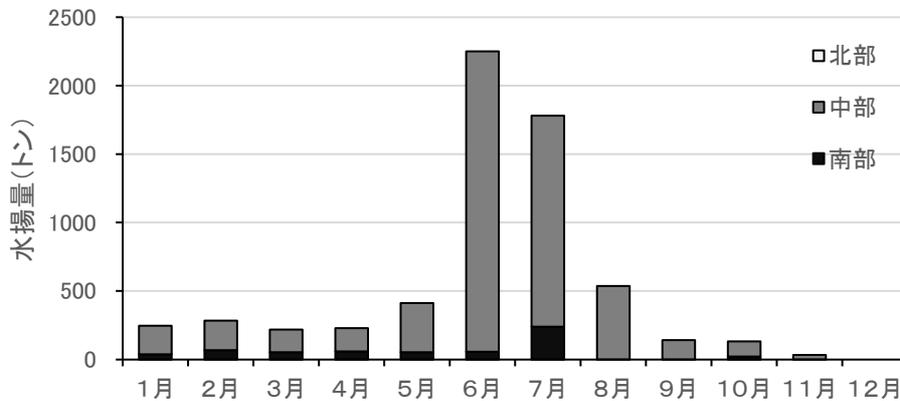


図7 豊後水道東側における海域別のカタクチイワシ水揚量

【2025年1～6月の漁況予測】

5月頃から漁獲対象となるが、カタクチシラスの漁獲量が前年を大きく上回ることから、前年同期を上回る予想される。

ウルメイワシ

【2024年7～11月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、7月149t、8月703t、9月158t、10月425t、11月221tで、計1656t（対前年比54%、対近年比55%、対平年比57%）となった（図8、9参照）。

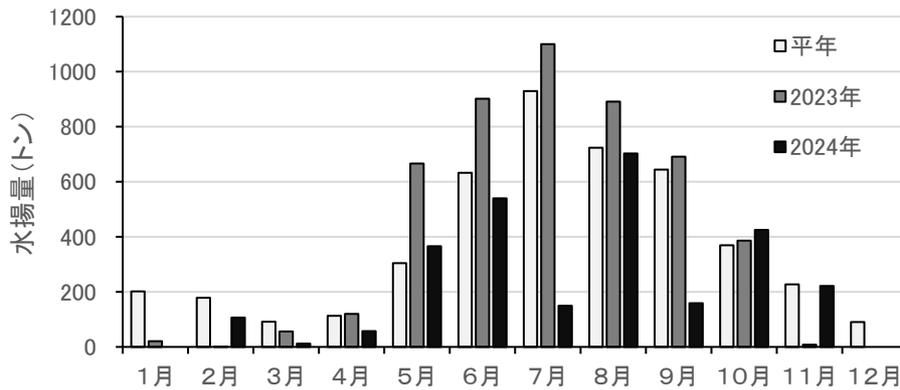


図8 豊後水道東側における月別ウルメイワシ水揚量

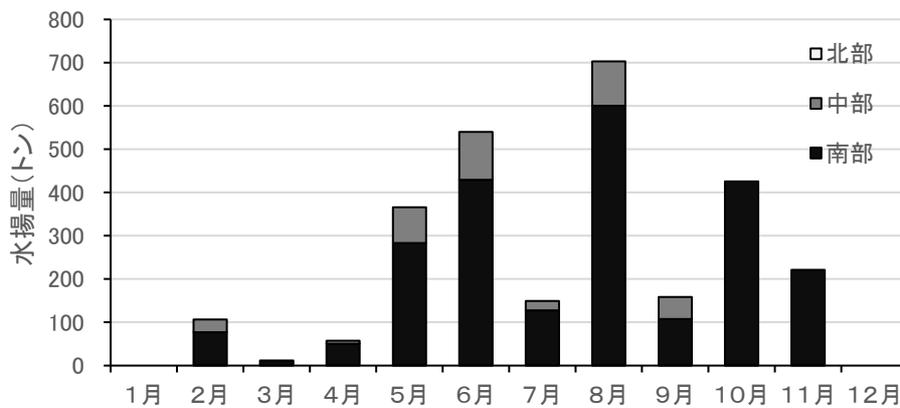


図9 豊後水道東側における海域別のウルメイワシ水揚量

【2025年1～6月の漁況予測】

加入時期にあたる4～6月から当歳魚が水揚げの主体となる。これらの個体の産卵親魚になり得る0歳魚の水揚量が前年同期を下回っていることから、来遊水準は前年同期を下回ると予測される。

マアジ

【2024年7～11月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、7月73t、8月142t、9月608t、10月232t、11月31tで、計1086t（対前年比629%、対近年比255%、対平年比79%）となった（図10、11参照）。

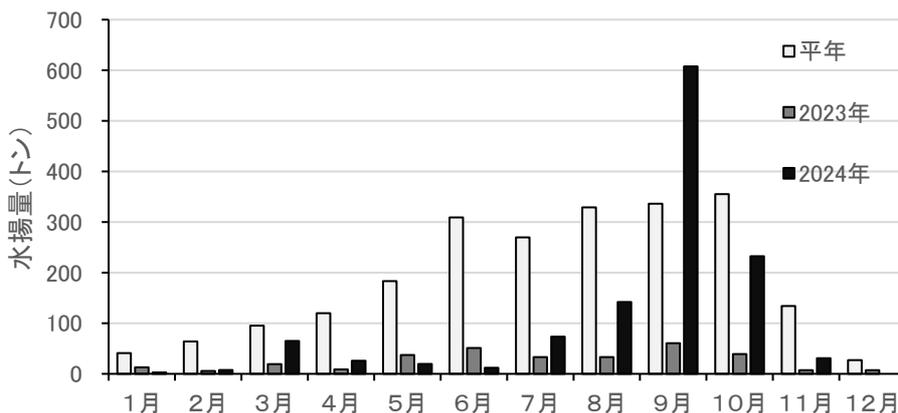


図10 豊後水道東側における月別マアジ水揚量

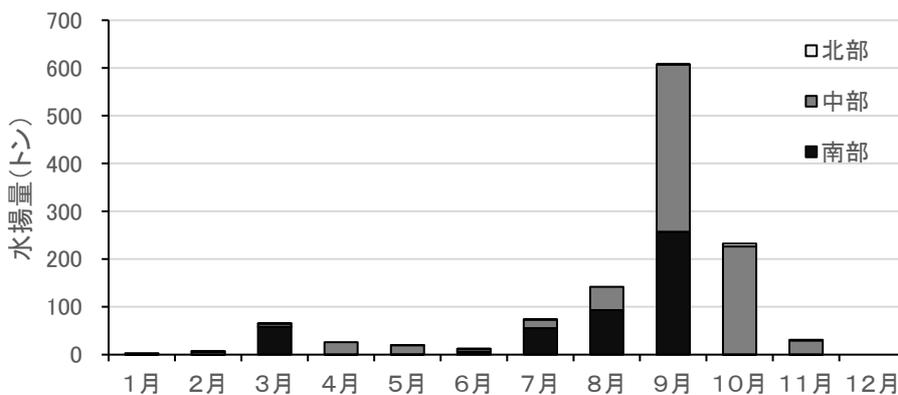


図11 豊後水道東側における海域別のマアジ水揚量

【2025年1～6月の漁況予測】

例年だと5月ごろから0歳魚の漁獲が始まる。0歳魚の来遊水準の予測は難しいが、太平洋系群の親魚量は減少傾向にあるが、来遊してくるとされる東シナ海の親魚量は横ばいであり、2024年7～11月の水揚量が本県の各海域とも前年を大きく上回ることから、0歳魚の来遊水準は前年同期と同等～やや上回ると予想される。

サバ類

【2024年7～11月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、7月0.2t、8月16t、9月45t、10月72t、11月9tで、計143t（対前年比41%、対近年比17%、対平年比10%）となった（図12、13参照）。

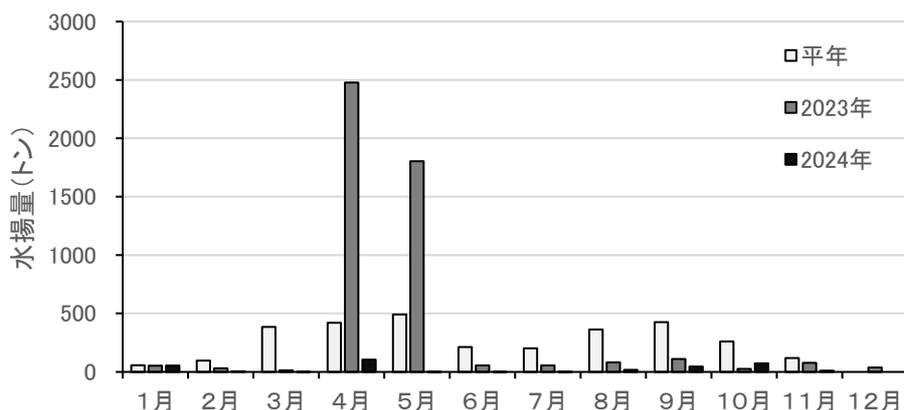


図12 豊後水道東側における月別サバ類水揚量

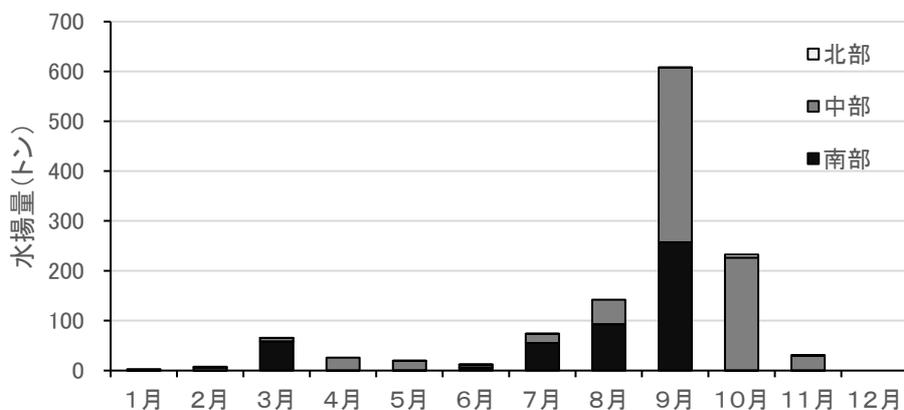


図13 豊後水道東側における海域別のサバ類水揚量

【2025年1～6月の漁況予測】

2024年7～11月の水揚量が前年同期を下回ったことから、来遊水準は前年同期を下回ると予測される。